

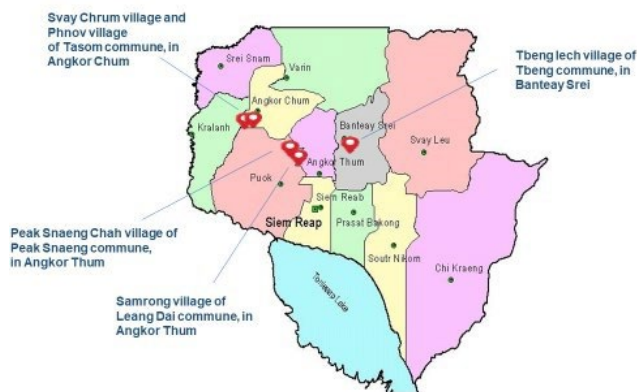
活動報告

日付：2022年4月1日

活動：カンボジア北部（シアンリープの北）の貧しい村の農民たちの自発と自助努力による農業生産グループの形成と運営に対する援助と収入増加・貧困解消の為の支援事業が JICA の草の根型支援事業として

4月1日に採択されました（正式な JICA 事業名：

小規模農民グループの自発と自助努力による収入と生活レベルの向上支援事業）



事業提案書要約（草の根協力支援型） 1. 提案事業の概要

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 1. 対象国 | カンボジア |
| 2. 事業名 | 小規模農民グループの自発と自助努力による収入と生活レベルの向上支援事業 |

| | |
|--------------------------|---|
| <p>3. 事業の背景と 必要性</p> | <p>対象地域のシエムリアップ州は最っとも開発の遅れた州の一つである。この地域の貧しい小規模農民達は農業により収入や生活を改善しようという期待を持っていても、投資する資金や新しい技術・知識を入手する機会に乏しく、何世代もの間、貧困の罠から抜け出せないでいる。それ故、自らの強い意思と自助努力で養鶏や養豚の技術を身に付け、収入や生活を改善して貧困から抜けだそうとする弱</p> |
| | <p>小農民グループを支援することは非常に重要であり、当事業を提案するに至った理由である。</p> |
| <p>4. 目標</p> | <p>対象地域の農民グループが自発と自助努力により農業生産と収益の向上、及び生活向上の知識を学び、実践し、長期的な収入及び生活レベルの向上を達成するための 基盤が構築される。</p> |
| <p>5. 対象地域</p> | <p>シエリムアップ州の①アンコールチャム郡プノブ村及びスヴヴァイチュルム村、 ② アンコールトム郡ピークスネングチャー村、③アンコールトム郡サムロング村、④ バンテアイスレイ郡トベンレック村</p> |
| <p>6. 地域を管轄する大使館</p> | <p>在カンボジア日本国大使館 在シエムリアップ日本国領事事務所</p> |
| <p>7. 本事業の対象となる人々</p> | <p>① シエムリアップ州の 4 つの農民グループ計 49 人の農民（20 歳～59 歳、貧困小規模農家で女性が約 8 割を占る） ② 対象地域の州や郡政府機関や地域農協に所属するステークホルダー等</p> |
| <p>8. 事業活動</p> | <p>1) 農民による参加型事業計画作成とグループの互助組織強化への支援、事業の啓蒙、地域に密着した支援の輪の構築、波及効果拡大の可能性へのアドバイス 2) 農民グループへの養鶏・養豚技術指導や訓練の提供、パイロット活動として生産資材の選定と提供、収支計算やビジネス管理知識の伝搬、生産物の加工や販売への支援、し尿処理などの環境対策へのアドバイス</p> |



| | |
|-------------|--|
| | 3) 家庭内衛生管理や新型コロナウイルス対策、子供や家庭内栄養レベル向上、及びジェンダー教育や女性の地位向上へのセミナーや訓練の提供等 |
| 9. 実施期間 | (西暦) 2022年11月～2025年10月(3年0ヵ月) |
| 10. 事業費概算 | 9,993.36千円 |
| 11. 事業の実施体制 | 提案団体は本事業の運営と管理・監督の責任を持つ。バンコクに駐在するプロジェクトマネージャー(畜産の専門家)は3か月に一回位の頻度で対象地域に出張する。現地には2人の常駐のカンボジア人職員がフルタイムで当事業の運営や調整業務、畜産に対する技術指導やモニタリングにあたり、カウンターパートのFNNやその傘下の地域農協は当事業の運営に協力し、対象グループの組織や互助活動の強化、訓練やセミナー開催への協力、地域行政機関との調整等の役割を担う。 |
| II. 提案団体の概要 | |
| 1. 団体名 | 一般社団法人(非営利)アジア自立支援機構(GIAPSA) |
| 2. 活動内容 | アジアの国の人々の貧困や飢餓の撲滅、自助努力による自立と持続可能な発展の達成に向けた支援を目的とし、タイ少の少数民族山岳民族に対する農業通じた支援、カンボジアシエムリアップ州の農村地域への事前調査、バングラデツシュの小規模農民達やNGOへの技術アドバイス等の活動を実施した。 |



一般社団法人（非営利）

アジア自立支援機構

Association for the Promotion of Self-reliance in Asia

- カンボジアに全国ネットワークを持つ FNN の協力で、カンボジア・シアンリープ県、バンテアイスレイ郡 などの（アンコールワットの北東へ 100 キロほどの地域）の貧しい農民達が団結して形成された農業協同組合の自活・持続可能な発展に向けた取り組みをを支援する事業の作成に 2020 年度に着手した。具体的には養鶏農家互助グループに対して養鶏や鶏卵生産資機材を有償・無利息で提供し、返済された資金を組合の回転基金として再利用して将来他の受益者たちに支援の輪が広がることを目的とする事業案である。この事業案は国際協力機構（JICA）の 2021 年度の草の根型支援事業案として公募に応募する形で提出されたが、当法人の活動実績が必要条件とされる 3 年に満たなかったことなどの理由で採用に至らなかった。
- その後、JICA つくば事務所のアドバイスや支援により、事業案に修正と改良を加え、2021 年 11 月に再度、草の根型支援事業（総額 1000 万円）に応募した。2022 年 4 月 1 日に JICA からこの事業案の採択の通知があった。実際の事業開始時期は 2022 年 11 月頃になる見込みだが、事前調整や準備の為、2022 年 6 月に現地を訪問する予定である。